

西中だより

学校教育目標

目指す生徒像：豊かな心と学ぶ意欲を持ち、たくましく生きる生徒

目指す学校像：すべての生徒に喜びと感動を育み、笑顔あふれる西中学校

川口市立西中学校

〒332-0028

川口市宮町16-1

Tel 048-253-1231

Fax 048-251-6792

令和6年5月31日発行

新たな発見は新しい目で見ることから

校長 三浦 伸之

「校長先生、見てください！」二人の女子生徒が何やら手に持ってやってきました。そこには小枝の上をゆっくりと動く小さなナメクジさんと手のひらに丸まったダンゴ虫さん。

これは水上自然教室の一日目、たくみの里で野仏を巡りながらスタンプを集める班別ウオークラリーを終えて、集合場所である旧小学校跡地でのことです。

普段見慣れない生き物に興味津々の生徒もいれば、「もう、虫やだ！」とまとわりつく虫を払い落としている生徒など、その反応する姿は様々でした。そこでひと言「虫は、無視なさい！」と座布団一枚の切り返しをした先生も流石でした。現地に着くまで「野仏」を「喉仏」と勘違いしていた生徒もいたようです。

天候にも恵まれ、初夏の新緑が美しい中での自然教室となりました。

水上自然教室のしおりに生徒が書いた日記を読ませてもらいました。その中から自然教室のメインとなる二日目のハイキングとキャンドルファイヤーの感想からいくつかご紹介します。

ハイキングでは「辛いとか疲れたというよりも、楽しく登ることができて良かったです。一人だと辛かった道でも友達と腕を組んで楽しみながら登ったら、仲良くなることも出来てとても楽しい思い出になりました。」「ハイキングはまさかの13km、土合駅の486段の階段で最初から絶望していましたが、まだ少ししか話をしたことがない〇〇くんと一緒に登って仲が深まった気がしました。」

一の倉沢までの長い道のりをみんなで声を掛け合い、励まし合いながら登ったことから仲間の新たな一面を発見したり、仲間の良さを肌で感じたりすることができました。一の倉沢に到着したときは仲間と克服したという充実感や達成感を味わえたようです。

キャンドルファイヤーでは『夢を与えるアーティストになる』この小さい頃からの夢を自分で言葉にするのはとても緊張しました。でも、これで少しだけ夢に近づけた気がしました。キャンドルファイヤーで自分に自信がついたのでこれも良い経験になりました。」と振り返った生徒がいました。

真っ暗な多目的ホールに全員のろうソクの火が灯り、一人ひとりの顔がろうソクの光に照らされたときは正しく幻想的でした。そのような雰囲気の中で一人ひとりが自分の目標に向けての決意を発表しました。仲間の前で自分の決意を言うことはとても緊張したと思います。その決意をみんなで見守り、みんなの気持ちはひとつになった素敵な時間となりました。

しおりの中に「水上自然教室で学んだことは何ですか」という質問があり、そこに「家族のありがたみ」と書いた生徒がいました。「いつもだったら起こしてくれる声が聞こえない水上はきつかったし大変だった。」「普段なら当たり前のように家族がやっていることでも、自分では手こずったことが多々ありました。私はその学びを普段から意識して活かそうと思いました。」「布団をいつも畳んでくれたり、時には私物をしまってくれたり、食後にテーブルを拭いてくれたり……。自分でやって大変だと思いました。自分でできることは自分で行うことを心がけます。」少しの間だけでも家族から離れて生活することによって、家族のことを考えた生徒もいたようです。

水上自然教室を通して、新しい目でこれまで気付かなかったことを発見して心の中にたくさんのお土産をもって帰ってきてくれたことが何よりも嬉しいと感じました。

